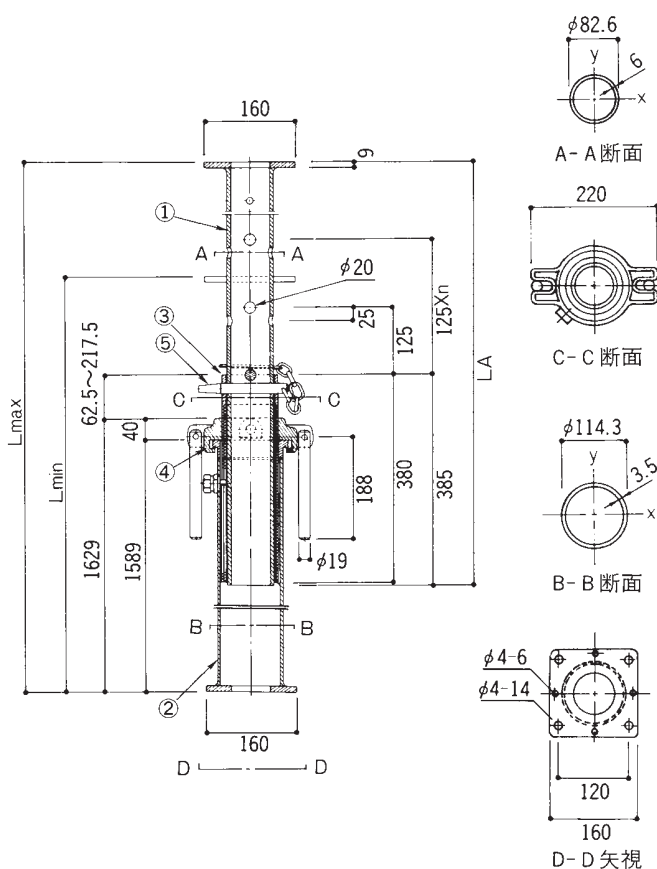


強力サポート

強力サポート



部 材 表

部番	名 称	主要材質	質量kg	備 考
①	上 柱	STK 500	17.13	別表による
②	下柱CHO-16			
③	ねじ筒	S 25 C	5.35	全種共通
④	雌ねじ			
⑤	鎖・ピン	S B C S C M 440	0.91	

上柱①の寸法・重量

記 号	上柱の長さ L A mm	ピン孔の ピッチ数 n	質量kg
CHI-32	1809	10	21.5
CHI-40	2609	10	30.5
CHI-50	3609	10	41.8

強力サポートの断面性能

諸 性 能	上 柱 φ82.6×6t	下 柱 φ114.3×3.5t
断 面 積 A cm ²	12.04	12.18
断面二次モーメント I cm ⁴	71.3	187.1
断 面 係 数 Z cm ³	17.26	32.75
断面二次半径 i cm	2.44	3.92

記 号	調 節 長		組立質量kg	耐 圧 強 度 kN(t)	
	最大 L max	最小 L min		最大破壊強度	許容強度
CHI-32	3270	1865	49.0	294(30)	147(15)
CHI-40	4070	2665	58.0	265(27)	127(13)
CHI-50	5070	3665	69.3	226(23)	98(10)

●強力サポートの特徴

- 1) 上柱には直交する2本のピンを付して、上柱の長さを調節しているが、これは1本ピンに比較して上柱の安定性が得られ荷重に方向性がない大きい特徴を待っております。
しかも、上柱の2つのピン穴は位置をずらせて強度を確保しております。従って柱の偏心荷重を少くして、上柱の曲りを自動的に防ぎ得る有利な構造であります。また、2本ピンですので最大荷重を加えてもピンの変化は殆んどなく、耐久性がある構造です。
- 2) 組立、立柱後、上下柱の寸法差で生ずる、がたつきによる偏心荷重を防ぐ、製品として2本ピンが交叉して設置され、支持力を高めております。
- 3) 柱長調節用のネジは耐圧強度の高い角ネジを採用し、挿込むことにより脱落しないようになっており、ボルト等で締付ける構造でないので事故発生の恐れは全くありません。
- 4) 各部材は降伏比が高く、充分吟味された高抗張力鋼管が使用されて安全性を高めております。更に立柱の際、長柱によって生ずる振動、横倒れ等の対策として強力サポートに、布、筋違等を直交、自在クランプ等で固定し安全の向上を計る事が出来ます。
- 5) 上下柱は抜差式であり、大きな長さの調節はピンで、微調整はネジで出来るため、如何なる長さの調節も可能であります。また、最大長の不足する場合には、継足し用の補助サポートも準備しております。

強力サポート

補助サポート

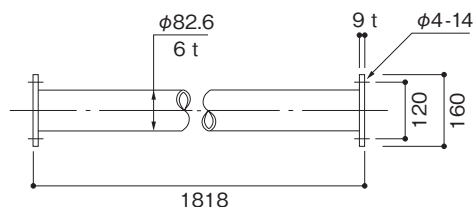
CHD-18

●質量 ……23.2kg

強力サポートの最大長が不足する場合は、継足し用の補助サポートを使用します。

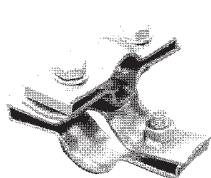
取付は4分×38mmのボルトで座金に取付けます。

販売品 ボルト・ナット 4分 38mm (4本)

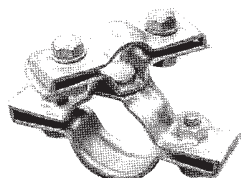


根がらみクランプ

水平つなぎ、筋違等を設けて支保工を安定させる場合の専用クランプです。
つなぎはφ48.6鋼管とします。



上柱用クランプ
NC-82 (3.8kg)
自在型 φ 82.6 × φ 48.6



下柱用クランプ
NC-114 (4.1kg)
自在型 φ 114.3 × φ 48.6

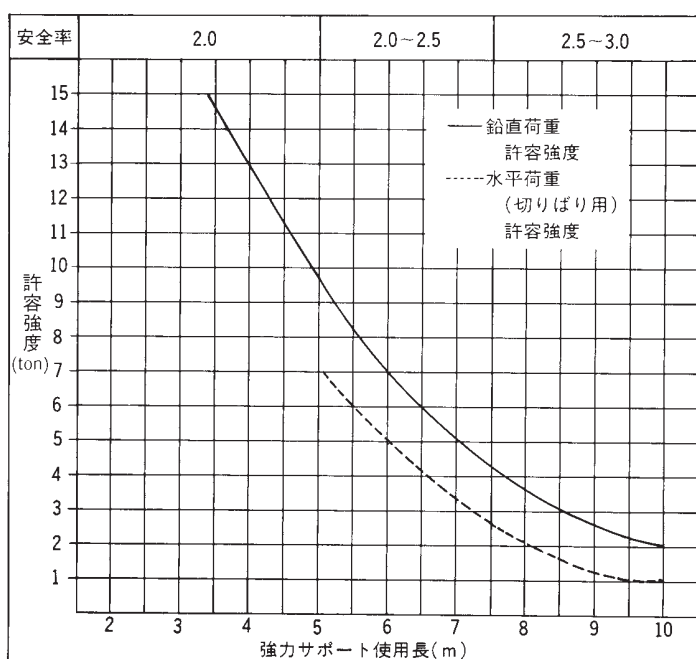


上柱用クランプ
NC-82C (3.8kg)
自在型 φ 82.6 × φ 48.6



下柱用クランプ
NC-114C (4.1kg)
自在型 φ 114.3 × φ 48.6

許容荷重



- 許容強度は両端平押しの場合ですから使用時には根がらみ、首がらみを設けて下さい。
- 使用長が5 m以上の場合には補助サポート、またはサポート2本継ぎとなりますので水平つなぎで振れ止めを設けて下さい。強力サポートは3本継ぎ以上は行わないで下さい。
- 2本つなぎとした場合（縦使い）の許容強度は、単体の場合の10%低減で使用して下さい。
- 切りばり用として使う場合は自重による横曲りが生ずるので30~50%低減して使用して下さい。



強力サポート